

市民のいのち、教育、緑を守る市政を！

小田原城址の樹木の伐採・枝おろしの計画は
市民に十分説明し合意を得てから行うべきもの



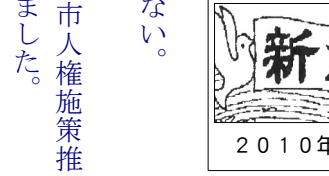
原田としじ議員

原田敏司議員は、今年市が策定した「史跡小田原城跡本丸・二の丸植栽管理計画」に関し、質問。同計画は、史跡と豊かな緑が一体となり市民が憩う小田原城址に対し、植栽に問題があるので数多くの樹木を伐採または相当の枝おろしをするとして、市民の中に波紋を広げている。小田原城址の植栽の問題点とは何か。樹木を何本ぐらい切るのか。相当の枝おろしとはどういうことか。学び橋や馬出門、小田原駅方面など8箇所のビューポイント（眺望点）からお城を見て、視界を遮る樹木や枝を切るとしているが、どのような基準でビューポイントを定め、どの程度お城が見えるようになるのか。かかる費用は、など質問。そして市民に「史跡小田原城跡本丸・二の丸植栽管理計画」につ



いて十分説明し、意見も聞き、合意形成を図る必要がある。市民の合意なしに「計画」を進めてはならないと厳しく指摘しました。**【市長】** 繁茂した樹木が天守閣や歴史的建造物の視界を遮り、石垣や地下遺構に影響を与えている。古木の倒壊や松の大枝の落下などが相次ぎ、火災や防犯上の問題も起きている。伐採や相当の枝おろしの対象樹木は約260本。相当の枝おろしとは樹木の丈をつめること。ビューポイントは、訪れる観光客の導線、登城ルートからの景観確保を考慮し設定。歴史的建造物と樹木のバランスに配慮した景観を確保したい。現段階では費用の算定は難しい。今後

市民に説明する機会や、意見を聞く場を設けたい。**中小零細企業を支援する住宅リフォーム助成の導入を**
次に原田議員は、市民が市内の業者に住宅リフォームを依頼したとき、市が一定の補助をする住宅リフォーム助成の導入を提案。全国では154の自治体を実施。今年岩手県宮古市では、20万円以上のリフォームに10万円補助、手続きも簡便にしたところ大評判となり、今状況を呈している。参考にしてはどうか。**【市長】** 住宅関連に限られることから導入は考えていない。



議会活動報告紙
日本共産党小田原市議団
小田原市荻窪300番地
日本共産党小田原市議団ホームページ
http://jcpodawara.kun.jp/

学校がより楽しくなるように、教育環境整備とその充実を



田中りえ子議員

田中利恵子議員は主に教育問題を大きく取り上げ、不登校児童・生徒の解消と学校の普通教室等へのクーラー設置などを求めて以下質問しました。
不登校児童・生徒の現状とその対策等については①この五年間の不登校児童・生徒数はどのくらいとなっているのか、②どのような対策をしてきたのか、③その評価と課題は何か。学校施設等のクーラー設置については、①夏場の保育室、学校の普通教室等の環境の実態はどのようなになっているのか、②保育室・調理室、普通教室等に計

画的にクーラーの設置などを求めました。**保育室の空調設備の設置は必要不登校対策強化事業は継続**
【市長】 平成21年度は小学校における不登校児童は62名（対象の視点広げる）、中学校における不登校生徒は223名。平成20年度は平成22年度までの3年間で行っている不登校対策強化年で、小中学校の連携強化を図り、指導主事の学校担当制を敷き、いくつかの関係諸機関との連携、組織的な対応に努めた。教職員の意識の高まりやチームワークでの支援がなされるようになり、各中学校に設置した校内支援室という不登校の子どもたちに欠かすことのできない居場所の確保ができた。課題は中1ギャップ

空調が設置されていない
保育室の温度は高い時で35度〜37度、調理室は35度〜40度。早急に残りの調理室3歳児以上の保育室に設置していく必要がある。学校の普通教室への対応は扇風機を基本的に順次整備していく。
さらに田中議員が不登校対策強化事業を今年度いっぱいまで終わらせずに継続すべきと求めたところ継続していくと答弁がありました。



市立病院の拡充と、市民ホール建設を問う



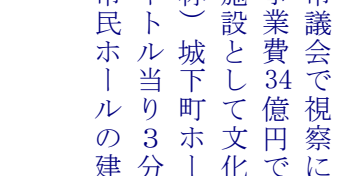
関野たかし議員

関野隆司議員は、小田原市立病院が県西地域の基幹病院として確立することを求め質問しました。国は小泉内閣の時に社会保障予算を毎年2200億円削減した結果、医療制度等の崩壊が心配されています。社会保障をお金で買うものに変質させ、医師・看護師不足、深刻な受診抑制など国民の命と健康が切り捨てられています。日本共産党小田原市議団は代表質問等で、市立病院に一般会計から繰り入れ金を増やし、産婦人科医の確保や腎内科の再開、医師等の待遇を改善するよう求めてきました。その結果市立病院への一般会計からの繰り入れ金は平成

18年の8億2500万円から平成22年予算13億2500万円へと増えていることを示した上で、市民が安心して受診できる体制づくりや拡充への取り組み、医師確保の取り組み等を質問しました。
次いで市立病院の民間委託化や指定管理者制度導入の方向性について質問。横須賀市立病院は今年度指定管理者制度に移行したが、新聞報道などによると医師73人から57人に、看護師301人から167人の見込み、1日平均患者数968人から733人に、入院患者数331人から187人へと激減しています。小田原市立病院をこのようにすべきではない。民間病院等から打診や呼びかけがあったか、と質しました。



市民ホールは費用を抑えて建設を
最後に市民ホール建設について建設時期や建設費等について質問。市議会では視察に行った北海道の北斗市は総事業費34億円でホール機能等を備えた複合施設として文化センターを建設した。（仮称）城下町ホールの建設費に比べ1平方メートル当り3分の2ぐらいで出来ている。市民ホールの建設費の想定等を質しました。



平成21年度決算

三つの特別事業会計及び病院事業会計を除く 一般会計その他決算に賛成



決算の審査に参加した 原田議員の討論の要旨

急激な不況で平成21年度の市の税収は前年度に比べ13億4,132万円(3.9%)減少。その中で前年度に比べ市債残高を20億9,787万円減らした。城下町ホールやお城通り地区再開発事業の中止が、市債等の借金の減少につながっている。市民ホール建設などが市債等の借金を再び増加させる懸念もあり、今後財政状況をよく勘案し、慎重に取り組む必要がある。

命を守る施策では、医師、看護師の大幅増員による救命救急センターの開設や妊婦健康診査の公費負担を4回から14回に拡充、小児医療・重度障害者・ひとり親家庭の医療費助成における県の一部負担金導入分を市が肩代わりするなど力を尽くした。

教育では、小学校2年生まで35人以下学級を広げ、スタディー・サポートスタッフ事業や特別支援教育推進事業の人的支援の拡充を進め、富水小学校屋内運動場の改築を行った。

障害者地域作業所への補助金の増額や介護保険料の段階区分の細分化(8段階)・介護給付費等準備基金取り崩し等により保険料の値上りを抑制した。

市独自の**中小企業経営安定緊急資金**融資預託金制度は、融資を受けた中小業者が飛躍的に増え、

中小企業支援の効果をあげた。
生ごみ堆肥化も検討し始めた。
専門家や文化団体代表者、市民等による**市民ホール**建設準備会を立ち上げ、市民ホールのあり方を深く掘り下げ検討を進めている。

一方、**国民健康保険**事業においては、一人当たりの保険料が県内19市中5番目に高く、一般会計からの繰入額は最も少ない。一般会計からの繰入れを増やし保険料を下げるべき。

競輪事業は入場者数、売上金とも減少しており、黒字のうちに廃止に備え基金の積み立てを行うべき。

大規模な高温溶融炉の導入も有り得る**ごみ処理広域化**は見直しが必要。

旧スパウザは、大規模改修が始まる時期にきているので、売却する方向で検討すべき。

高齢者を差別する**後期高齢者医療**事業は、国として早期に廃止すべき。

その他**小児医療費**助成の拡充、小中学校の**不登校対策**や夏場の**暑さ対策**、**不況対策**、**おひとり保育園**の取得、**水害対策**など課題は山積している。

以上により、競輪事業、宿泊等施設事業、後期高齢者医療事業の決算に反対し、その他については賛成する。なお**病院事業会計**について、平成18年度から指示の不徹底が原因で過払いがあったことから反対する。

豊かな緑も歴史も生かした 小田原城址公園を

小田原城址の植栽管理に対する 日本共産党小田原市議団の見解

① 小田原城址公園は市民のいこいの場であり、歴史の舞台ともなった観光の中心地、まさに市民の宝です。豊かな緑と史跡が融合した都市公園として整備されることが望まれます。

② 「史跡小田原城跡本丸・二の丸植栽管理計画」については市民に十分説明し、意見も聞き、合意形成を図る必要があります。そのこと抜きに計画を推進すべきではありません。国指定史跡であることから、石垣や歴史的建造物、地下遺構に直接影響を与えている樹木について伐採等の処置をとらざるを得なくなることもありますが、その場合も市民に十分説明し、理解を得ることが大切です。

③ 史跡の整備は市民に十分情報提供し、市民の理解を得ることが大切です。そこで「御用米曲輪環境整備」計画については、

近隣住民や高校によく説明し、合意を得るよう力を尽くすべきです。なお「御用米曲輪」を表面表示するとき、残せる樹木は極力残すべきです。

④ 歴史と緑を生かした魅力ある小田原城址公園は、市民のみなさんの意見を反映し、専門家の知識を取り入れてこそ実現できます。倒木等の危険のある樹木や病樹等は整理が必要ですが、お城がよく見えるようにするための樹木の伐採等は市民の合意なくして行うべきではなく、必要な合意形成のために画像で様々シュミレーションする方法など検討すべきです。

一部マスコミ報道について

「城址公園の樹木300本伐採する計画」との一部マスコミ報道は、今まで市の説明がなく、事実誤認といえます。



北村透谷碑移設に伴う 樹木伐採に関し

加藤市長に緊急申し入れ

10月29日に行われた北村透谷碑の移設に伴う樹木伐採に関し、日本共産党小田原市議団として28日、加藤市長に以下の緊急申し入れを行いました。

10月29日に予定されている「馬屋曲輪修景計画」において実施されようとしている樹木の伐採等は、小田原市として

- ① 十分に市民に説明し、市民の声も聞き、市民の理解を得るよう全力を尽くすこと。
- ② 市民の納得を得られない場合、10月29日の工事は一時回避すること。以上強く要望いたします。

日本共産党の
無料法律相談
担当弁護士
岡村三穂
12月7日(火)
11月11日(火)
午後一時より
※予約制です。相
談される方は、原
田、田中まで申し
出ください。

**法律相談・市政・生活相談は
下記へご連絡ください**
Tel/Fax 住所
関野たかし 42-0316 曾我岸90
原田としじ 48-4931 南鴨宮2-24-14
田中りえ子 35-5389 扇町1-6-2
(市役所 市議団控室 33-1789)
Eメール(代表) tanakarieko@nifty.com